

## ◎多世代交流の仕組みづくり事業

3月26日（金）に三育学院大学と協働で多世代交流の仕組みづくり事業を実施しました。

今回は、交流サロンかぐやで「オリーブで染色体験」をテーマに高齢者と小学校5・6年生11名が交流しながらオリジナルハンカチを作成しました。



▲参加者がオリジナルの模様を作っている様子



▲絞り方を教わる姿

三育学院大学の教職員と学生の協力によりオリーブの葉を染料とした2種類のハンカチを作成しました。

参加者は、輪ゴムやビー玉、ペットボトルのキャップを使ってハンカチを絞り、オリジナルの模様を作りました。ハンカチを絞る際に高齢者が小学生に絞り方を教えるなどとても微笑ましい姿も見られました。

また、煮染めしている時間を活用し、一緒にけん玉やお手玉などの昔遊びを行ったり、給食の話で盛り上がったり、多世代交流をととても楽しんでいました。

今回も新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底し、実施しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により自粛生活が続く中、普段できない染め出し体験や多世代交流が出来たことが参加者にとって、良い思い出になりました。

今後も新型コロナウイルス感染症の動向を確認しながら、少ない人数でも地域の高齢者と子どもたちの多世代交流が実施できるように三育学院大学と協働していきます。



▲参加者全員でオリジナルハンカチと一緒に撮影